

東部教育事務所管内における働き方改革の取組一覧

令和6年12月5日現在

No.	学校名または市町名	分類	内容
1	佐賀市内小学校	学校行事	佐賀市の学校で、家庭訪問を実施せず、代わりに個人懇談に変更している。移動時間の削減や交通事故の防止につながる。家庭の負担も減る。一方で、家庭訪問が復活した学校もある。
2	鳥栖市内小学校	定時退勤等	前校長先生が、働き方改革の取組をまとめたプリントを作られた。
3	佐賀市内小学校	地域ボランティアとの連絡調整等	①自転車競技大会の参加を断る。実技指導は、地域ボランティアが行うが、参加に伴う職員の負担もあった。 ②3月の地域文化祭の参加を断る。例年4年生が参加していた。 ※校長先生が地域の行事等に積極的に参加して、関係づくりをしてきた。
4	佐賀市内小学校	児童生徒の休み時間における対応	昼休みを30分にして、6時間授業でも下校を3時25分に揃えている。職員は、下校後に15分間休憩時間を設定している。
5	佐賀市内小学校	放課後・夜間などの対応	会議は、連絡事項のみにして、1時間以内としている。検討事項、協議事項は、次年度に係る内容のみとしている。
6	佐賀市内小学校	校内清掃	2校時終了後に掃除と休み時間合わせて40分取っている。昼休みも30分に短縮して、勤務時間としている。6校時の場合の下校完了時刻は15時15分で、16時まで休憩時間としている。
7	佐賀市内中学校	カリキュラム・教育課程等	生徒の7時30分以前の登校は無しと通達。職員も原則7時30分以降出勤としている。7時30分以前に出勤するのは開錠や電話対応する教頭・事務長など。
8	佐賀市内小学校	放課後・夜間などの対応	電話対応は、8時15分～16時45分としている。保護者からの苦情はない。先生たちの保護者への連絡が早くなるという効果も見られる。
9	佐賀市内小学校	児童生徒の休み時間における対応	昼休みは30分間で、勤務時間扱い。下校完了は15時15分で、16時まで休憩時間。会議等は16時から。
10	佐賀市内小学校	カリキュラム・教育課程等	週授業時数を29コマから28コマにしている。（月・水曜日を5時間授業）
11	佐賀市内小学校	会議・打ち合わせ	クラブ活動・委員会活動の裏で、管理職と校務4役の主任会議を行っている。その場で職員会議に校務4役はその前に班ごとに打ち合わせを行っており、主任会議で調整を行っている。そのため職員会議で協議することがほとんどなくなり、時間短縮につながっている。大規模校ゆえに職員数が多いのでクラブ・委員会活動の裏の時間が使えている。
12	佐賀市内中学校	カリキュラム・教育課程等	年間授業時数を減らした。保護者面談を5時間目終了後からしていたものを午後からにしたことによって、先生方の帰宅時間は早くなった。
13	佐賀市内中学校	学習評価や成績処理	採点アプリを導入したいと考えている。 →現在のところ、佐賀市教委をお願いをしている。
14	小城市内中学校	放課後・部活動	今年度、水曜日をノー部活、職員会議日とし、中学生も45分授業の日課にした。
15	多久市内学校	授業準備	作成した教材を校務サーバに保存してもらおう。校務サーバ自体が多久市のクラウドと連携しており、校内だけでなく多久市内3校間で教材を共有できる。
16	多久市内学校	放課後・夜間などの対応	・今年度から、多久市でも定刻以降の応答メッセージ対応を導入。 ・年度初めに給食開始を1週間程度遅らせ、学期初めの準備として時間を充てている。
17	多久市内学校	学校行事	今年度から4月の家庭訪問をなくし、教材研究の時間を確保した。
18	多久市内学校	登下校に関する対応	登校指導は地域の方へ依頼し、教職員の負担軽減につなげている。

19	多久市内学校	放課後・部活動	部活動顧問を複数人で担当し、顧問のいずれかが部活動指導に入らない日を順番に確保できるようにした。
20	吉野ヶ里町小中学校	放課後・夜間などの対応	働き方改革についての共通理解のため、小中合同校内研修に妹尾昌俊氏を招聘し、講話を聞いた。その講演を受けて、年度当初に職員の勤務時間、部活動指導時間について、保護者に通知を出した。普段、先生方がしっかり関わっていることもあり、保護者からの反応は問題なかった。
21	吉野ヶ里町中学校	その他	「家族団らん月間」を通知することで通信類を差し控える期間とするとともに、子どもと会話するきっかけとする。5月中に文書を発出し、6月と10月に実施する予定。
22	吉野ヶ里町中学校	カリキュラム・教育課程等	教育課程の見直しを兼ねて、6月の後半、中体連前の授業を4時間授業にした。
23	吉野ヶ里町中学校	校務分掌	期首面談の際に、学校経営に関する資料を職員1人ずつに渡し、データから学校の現状や課題を共有した。先生方には、学校経営計画の項目と関連させて人事評価の目標設定をしてもらう。達成状況を色付けしていくことで、達成状況を可視化し、職員間で共有できるようにする。
24	神崎市内小学校	放課後・夜間などの対応	終わりを決めて業務を行う意識を高める ・出勤時に押印とともに、退勤予定時刻を一覧表に記入する。 ・18時に音楽を流し、退勤の準備を促す。
25	多久市内学校	部活動	地域に移行している段階であり、部活動の加入率は30%程度。後は、社会体育などである。そのため、部活動顧問が1つの部活動に複数名おり、役割分担等がしやすい。
26	多久市内学校	定時退勤等	職員と話し合い、定時退勤日を変更した。昨年度までは一斉に木曜日にしてしたが、前期課程は金曜日、後期課程は水曜日と帰りやすい曜日を職員から意見を聞き、別々に設定した。
27	多久市内学校	その他	多久市は先生方はタブレットを持ち帰りすることができる。自分が都合が良いときに仕事ができる利点がある。また、テレワークについても推進していこうと考えている。まずは、夏休みに試験的に行おうと考えている。
28	佐賀市内中学校	カリキュラム・教育課程等	朝の始まりを8時5分から8時10分に5分遅らせた。保育園送迎がある先生たちには余裕ができたと好評。
29	佐賀市内小中学校	学習評価や成績処理	通知表を今年度から2期制にする。所見欄は記入しない（日常的に細かく保護者と連絡を取っているため）既に保護者からの了承も得ている。道徳等は記入する。
30	佐賀市内小中学校	校務分掌	小中一貫校の特色をいかし、校務分掌で小・中で重なる部分は主・副とした。その効果として、一人当たりで主になるものを減らせる。学校全体で統一した体制がとれるようにする。
31	佐賀市内小学校	児童生徒の休み時間における対応	朝のスキルタイムをなくし、1校時開始時刻を始める。また、10分休みを5分に短縮。
32	神崎市内小学校	会議・打ち合わせ	会議資料のペーパーレス化。タブレットで資料を閲覧。 関連して、学校発出の文書もペーパーレス化。ホームページやメール配信ツールで配信している。
33	神崎市内小学校	登下校に関する対応	担任等の朝の立ち番をなくし、その時間は教室での児童対応にあてている。
34	神崎市内小学校	学校徴収金の徴収・管理等	業者からの注文等のお金は、期間を設定し、担任ではなく、事務室に保護者が持っていく。その期間に、参観日等も利用している。
35	神崎市内小中学校	カリキュラム・教育課程等	夏季休業中に一定の期間で朝1～2時間授業を行い、課業日の6時間授業を5時間授業にできる日が増えるよう検討している。
36	佐賀市内小学校	会議・打ち合わせ	連絡会や会議で、司会は「他にありませんか」と言わないようにしている。

37	佐賀市内小学校	地域ボランティアとの連絡調整等	少年の主張大会やカルタ大会等は休日に地域で運営をしてもらい、管理職のみの参加にした。その他の職員の参加は任意としている。
38	佐賀市内小学校	その他	校内研究は、個人でテーマや教科領域を設定し、人事評価の自己申告目標と関連させる。授業は学年グループで参観し合い、研究のまとめも個別に作成する。主体的で効果的な校内研究をねらっている。
39	吉野ヶ里町内小学校	校内清掃	吉野ヶ里町は給食センター方式のため、朝の短縮や給食の時間を早めるなどの変更ができない。そこで、20分休み後にそうじをもってきて、昼休みを10分短縮。児童下校完了時刻の15時35分から10分間をその分の休憩時間とした。早めに退勤する職員も増え、残業時間も減った。
40	鳥栖市内中学校	その他	週1回の職員連絡会の内容を、PCの掲示板に記載することを徹底し、口頭による連絡を減らすことで時間短縮を図っている。
41	神埼市内小学校	学校行事	自然教室を金土で実施。ハッピーマンデー（月曜5時間の日を年間8回実施）。行事反省は直後に行い、年度内に改善。
42	神埼市内小学校	カリキュラム・教育課程等	特別支援担任を学年に配置し、児童把握と相談役となるようにする。教頭、教務の授業時数を減らし、自習時や緊急対応に備える。
43	神埼市内小学校	校務分掌	担当分掌と委員会活動をリンクさせる。学び部が研究推進委員を兼ねる。
44	神埼市内小学校	その他	出退勤記録を視覚化。施錠時刻の予告を行う。
45	佐賀市内中学校	その他	校長室や職員室のテレビモニターに、年休者（時間）や行事予定、出張者、熱中症指数などをリピート表示。情報共有しやすくしている。
46	鳥栖市内中学校	調査・統計等について	学校改革プロジェクトチームを立ち上げ、学校運営への参画意識を高めている。 →・校時の変更、下校時間の繰り上げ。 ・出席確認システムの構築（登校時の出席確認をタブレットを用いて効率化）
47	佐賀市内小学校	会議・打ち合わせ	・昨年から職員会議資料をペーパーレスにした。印刷業務の軽減。資料がメッキリでもリンクをはればよい。 ・会議等の開始時間の可視化。時間への意識向上。
48	佐賀市内小学校	その他	朝7時開錠、7時半退勤の明言。第3金曜はスーパー定時退勤日とし、6時頃閉める。
49	佐賀市内小学校	校内研修	夏季休業中の研修については、日程を詰めて入れ、先生方が連続して年休が取れるように計画した。
50	基山町内小学校	通信・お便り	アプリを使用し、子供も保護者も一人一台端末やスマホで学級通信を見ることが出来る。印刷・配布が不要で、サイズや分量も気にせず発信できる。
51	基山町内小学校	意欲向上	校長先生が積極的に児童をほめることが、児童や保護者との信頼につながっている。結果としてクレーム対応が減り、業務効率化となっている。
52	佐賀市内小学校	その他	教育実習受入れについて、多忙感の軽減になるよう人材育成のための実習であることを共通理解した。実習日誌のチェックなども校長から行い、教育実習の視点を全職員で共有できるようにした。
53	鳥栖市内小中学校	通信・お便り	欠席や遅刻の連絡、保護者へのアンケートやお知らせは、アプリを活用している。
54	鳥栖市内小学校	校内清掃	掃除なしの日を週2日設定している。
55	鳥栖市内小学校	その他	役職別定時退勤を設定し、率先垂範している。
56	鳥栖市内小学校	校務分掌	「業務内容10%削減案」を全職員から募集している。
57	鳥栖市内小学校	学校行事	体育大会を10月中旬に変更したことで、児童用テントの設営業務が減った。
58	鳥栖市内小学校	地域ボランティアとの連絡調整等	・夏季休業中の除草作業（PTA活動）を廃止した。